令和6年度 北区地域包括支援センター運営協議会議事録

1. 日時：令和6年8月19日(月) 午後2時～3時30分
2. 場所：北区役所 7階大会議室
3. 出席者：委員12人、傍聴人なし
4. 議題
 - (1) 令和5年度 あんしんすこやかセンター(地域包括支援センター)の運営状況について
 - (2) 令和6年度 あんしんすこやかセンター事業計画について【以下非公開】
 - (3) 特定事業所へのサービス集中率等について
 - (4) 地域包括ケアの充実のための事業目標(令和5年度)の評価および地域活動計画(令和6年度)について

5. 当日出された主な意見および事務局回答 (議題1について)

- 委員 高齢化が進み、高齢者の割合が多くなっている。それでも全体的な実績報告の数字は悪くなかったが、健康な高齢者が多いということか。
- 事務局 高齢化が進むことで、介護保険の利用者も増加している。しかし、神戸市は他都市と比べると、要介護ではなく要支援認定の方が多い。(要介護になるまでに)予防的にかかわることができているからなのか、引き続き注視していきたい。
- 委員 権利擁護について。全市の高齢者虐待の相談件数は減っているが、北区で見ると多くなっている。具体的な例は難しいと思うが、もし理由等がわかれば教えてもらいたい。
- 事務局 (北神)コロナ禍があげ、地域に出ていき、地域の方々とやり取りをする機会が増えた。その結果、あんしんすこやかセンターの職員が訪問したり、集いの場に参加したりした際に情報を得ることがあり、虐待疑いを含めた相談は増えている傾向にあると思われる。
(北北区)この月報は在宅の方の高齢者虐待の数値となっている。特に関係機関からの相談が増えている印象。虐待が増えたというよりは、連携が密になったことで情報が早く入るようになったと思われる。
- 委員 <<権利擁護の消費者被害について>>
被害を受けた方からの報告の件数か、疑いや相談の件数も含まれているのか。相談件数が実態よりもやや少なく感じるがいかかか。
- 委員 相談件数として実際よりも少ないと思う。あんしんすこやかセンターと連携することがあるが、もっと件数があるはずである。
- 委員 もっと啓発をしたり、警察と連携をしたりしないと被害が減らないのではないかと思う。
- 委員 あんしんすこやかセンターは、すでにふれあい給食会のように地域で行われる行事等の機会を利用して消費者被害の啓発を積極的に行っているため、今後成果が出ることを期待したい。
- 事務局 消費者被害にあった人および疑わしい人の双方を合わせた相談件数となっている。相談件数については、対応はしていても、入力漏れ等で正しく報告ができていない可能性がある。
特殊詐欺については、令和5年度に市が兵庫県警と協定を結び、警察から情報提供書が届き、福祉的な支援が必要な場合はあんしんすこやかセンターが対応している。警察からあんしんすこやかセンターへ直接相談も入っており、警察とあんしんすこやかセンター等の連

携はできていると思われる。

(議題2について)

委員 事務局から、今年度から「あんしんすこやかセンターの災害時対応のガイドライン」が市から示されるなど、取り組みを行っていないといけないと説明があった。介護事業所等にBCP作成が義務付けられているが、事業計画の中に災害時対応について触れていないあんしんすこやかセンターもある。事業計画確認時、区からの指導がなかったのか。

事務局 ご指摘のとおり、北神圏域の3センターが災害対策について触れていない。防災等の対策については各あんしんすこやかセンターと話をしていたが、事業計画に記載するように助言はできていなかった。今後、災害時対応についても記載するように指導していきたい。